

# 三菱東京、UFJ 統合による企業への影響調査

< TDB 景気動向調査 2004 年 7 月 特別企画 >

2004 年 8 月 6 日

お問い合わせ先：株式会社帝国データバンク 産業調査部

電話：03-5775-3163、e-mail：keiki@mail.tdb.co.jp

http://www.tdb.co.jp/

景気動向調査 http://www.tdb-di.com/

## UFJ 融資先の半数に影響、うち約 4 割は悪影響を懸念

三菱東京フィナンシャル・グループ(以下三菱東京)とUFJホールディングス(以下UFJ)の統合へ向けた検討が行われることが発表された。その後、一時、三井住友フィナンシャルグループもUFJとの統合へ名乗りをあげるなど、メガバンクの間で経営基盤の強化に向けた再編の動きが再び活発化している。

そこで帝国データバンクでは、2002年5月から毎月定期的に行っている「TDB景気動向調査」(インターネットを利用したWeb調査方式)において、三菱東京とUFJの統合が実現した場合の融資先への影響を調査した。調査期間は2004年7月22日～31日。

調査対象は全国2万1,745社、有効回答社数は1万435社。

そのうち、三菱東京をメインバンクとする企業は685社(構成比6.6%)、メインバンクではないが比較的借入れが多い企業は615社(同5.9%)で、計1,300社(同12.5%)が三菱東京の主な融資先であった。また、UFJをメインバンクとする企業は763社(同7.3%)、メインバンクではないが比較的借入れが多い企業は562社(同5.4%)で、計1,325社(同12.7%)がUFJの主な融資先であった。これらの企業1,300社、1,325社をそれぞれ分析対象とした。

### 両グループとの取引状況

	社数( )内は構成比%					
	メインバンク	メインでないが比較的借入れが多い	借入れは少ない	取引はない	分からない不回答	合計
三菱東京	685 ( 6.6 )	615 ( 5.9 )	1,439 ( 13.8 )	6,567 ( 62.9 )	1,129 ( 10.8 )	10,435 ( 100.0 )
	1,300 (12.5)					
UFJ	763 ( 7.3 )	562 ( 5.4 )	1,310 ( 12.6 )	6,638 ( 63.6 )	1,162 ( 11.1 )	10,435 ( 100.0 )
	1,325 (12.7)					

### UFJ 融資先の約半数に影響、特に中小企業で影響大

三菱東京、UFJそれぞれの融資先に対して、統合による影響の有無を尋ねたところ、三菱東京の融資先で「影響がある」と回答したのは、1,300社中435社(構成比33.5%)と、3社に1社で影響があることが分かった。

一方、UFJの融資先で「影響がある」と回答したのは、1,325社中622社(同46.9%)と約半数を占めた。

両グループを比較すると、統合によって影響がある企業の割合は、UFJの融資先の方が三菱東京よりも13.4ポイント高かった。また、規模別では、三菱東京、UFJともに中小企業の方が大企業よりも4ポイント以上高く、企業の規模による格差も鮮明となった。

このことから、UFJの融資先の方が三菱東京の融資先より統合の影響を受ける企業が多く、その割合は中小企業の方が大企業より高いことが分かった。

### 統合による影響の有無

		社数( )内は構成比%			
		影響がある	影響はない	分からない不回答	合計
三菱東京	大企業	147 ( 30.8 )	211 ( 44.1 )	120 ( 25.1 )	478 ( 100.0 )
	中小企業	288 ( 35.0 )	399 ( 48.5 )	135 ( 16.4 )	822 ( 100.0 )
	計	435 ( 33.5 )	610 ( 46.9 )	255 ( 19.6 )	1,300 ( 100.0 )
UFJ	大企業	193 ( 43.4 )	135 ( 30.3 )	117 ( 26.3 )	445 ( 100.0 )
	中小企業	429 ( 48.8 )	260 ( 29.5 )	191 ( 21.7 )	880 ( 100.0 )
	計	622 ( 46.9 )	395 ( 29.8 )	308 ( 23.2 )	1,325 ( 100.0 )

### 三菱東京の融資先では、好影響への期待と悪影響への懸念が拮抗

三菱東京の融資先で、統合の影響がある435社に対し影響の度合いを尋ねたところ、「プラスの影響のみ」と回答したのは8社（構成比1.8%）、「マイナスよりもプラスの影響が大きい」と回答したのは125社（同28.7%）となり、計133社（同30.6%）が好影響を期待していることが分かった。

具体的には、「東海・関西地区への進出に向けプラス」（調剤医薬品小売、東京都）「中小企業に関心が増す」（建機リース、東京都）といった声が聞かれた。

一方、「マイナスの影響のみ」と回答したのは23社（同5.3%）、「プラスよりもマイナスの影響が大きい」と回答したのが110社（25.3%）で、計133社（30.6%）が悪影響を懸念していることが分かった。

具体的には、「三菱東京の財務体質悪化により貸付金利の上昇が懸念される」（医薬品小売、東京都）といった声が多数聞かれ、その対応策としては「新たに他行との取引を検討する」との声が目立った。

以上のように、三菱東京の融資先では好影響への期待と悪影響への懸念が拮抗している。プラス面では自社の業容拡大を期待する反面、マイナス面では三菱東京の財務体質悪化や不良債権処理に関わる負担増が貸し出し姿勢に影響するのではないかと懸念する傾向が表れる結果となった。

### UFJの融資先では、統合による影響を受ける企業の約4割が悪影響を懸念、好影響を期待する企業は約2割にとどまる

UFJの融資先で、統合の影響がある622社に対し影響の度合いを尋ねたところ、「プラスの影響のみ」と回答したのは18社（同2.9%）、「マイナスよりもプラスの影響が大きい」とした企業は128社（同20.6%）となり、計146社（同23.5%）が好影響を期待していることが分かった。

具体的には、「大企業の取引先紹介が期待できる」（建築金物卸売、大阪府）「対外信用が増す」（不動産賃貸、千葉県）といった声が聞かれた。

一方、「マイナスの影響のみ」と回答したのは52社（同8.4%）、「プラスよりもマイナスの影響が大きい」と回答したのが188社（同30.2%）で、計240社（同38.6%）が悪影響を懸念していることが分かった。

具体的には、「審査基準が厳しくなる」（電子部品卸売、愛知県）「旧東海銀行色が一層希薄化し、地域経済へ悪影響」（自動車部品卸売、愛知県）といった声が聞かれ、その対応策としては「地域金融機関へのシフト」が圧倒的多数を占めた。

以上のように、UFJの融資先では好影響を期待する企業が約2割あったものの、悪影響を懸念する企業が約4割にのぼった。プラス面では自社の業容拡大や対外信用の向上を期待する反面、マイナス面では審査基準の厳格化や地域経済への懸念が表れる結果となった。両グループの統合が地域経済や中小企業へ恩恵をもたらすためには、融資先へのサービスの維持、向上が図られることが不可欠と見えそうだ。

統合による影響の度合い

社数（ ）内は構成比%

	プラスの影響のみ	マイナスよりもプラスの影響が大きい	プラス・マイナスともにあるが相殺される	プラスよりもマイナスの影響が大きい	マイナスの影響のみ	合計
三菱東京	8 ( 1.8 )	125 ( 28.7 )	169 (38.9)	110 ( 25.3 )	23 ( 5.3 )	435 (100.0)
	133 (30.6)		169 (38.9)	133 (30.6)		435 (100.0)
UFJ	18 ( 2.9 )	128 ( 20.6 )	236 (37.9)	188 ( 30.2 )	52 ( 8.4 )	622 (100.0)
	146 (23.5)		236 (37.9)	240 (38.6)		622 (100.0)

企業の主な声

	三菱東京側	両グループに共通	UFJ側
プラスの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>東海・関西地区への進出に向けプラスと考えられる</li> <li>中小企業への関心が高まる</li> <li>情報力・企画力・提案力・処理能力など全てにおいて期待している</li> <li>三菱東京は大企業重視の方針なのでUFJの考え方が入ってくれば変わってくるだろうとの期待感がある</li> <li>UFJの機動力が加わることに期待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループが持つ豊富な情報量に期待する</li> <li>対銀行折衝業務が軽減される</li> <li>取引が一括化され効率化が図れる</li> <li>サービス面での拡充が期待できる</li> <li>安定性が増しベイトフ全面解禁に向け信頼性がアップする</li> <li>不良債権処理の加速によって地方の不動産が流動化し、開発が促進されることを期待する</li> <li>金融システムの安定化により今後の景気に好影響が期待される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UFJの経営が安定する</li> <li>大企業の取引先の紹介が期待できる</li> <li>対外信用が向上する</li> <li>海外事業展開に好影響が期待できる</li> <li>多種多様な海外情報が入手可能になる</li> </ul>
マイナスの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱東京の財務内容に対する外部評価がどうなるか不透明である</li> <li>財務体質の悪化や不良債権処理の負担増による貸付金利の上昇が懸念される</li> <li>世界最大のメガバンクになり、行員の姿勢が更に増長する懸念がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行間の競争が少なくなる</li> <li>リストラや支店統廃合により担当者が頻繁に変わる</li> <li>取引店舗が閉鎖対象になるか不安</li> <li>対応が速くなり細かい行員のアドバイスも少なくなる</li> <li>巨大化されて足元のサービスがあるものになることが懸念される</li> <li>融資枠の縮小が懸念される</li> <li>取引が一括に集中しリスクが高まる</li> <li>両グループの借入額がメインバンクを上回り銀行間のシェアをどうするか問題である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査基準が厳格化される</li> <li>旧東海銀行色が一層希薄化する</li> <li>旧東海銀行出身の社員が減少することで融通が利かなくなる</li> <li>三菱東京側の影響が高まった場合、庶民派の銀行が1つ消えることになるのではないかと懸念される</li> <li>巨大化することで弱者切り捨てにならないか</li> </ul>